第87号
2022/8

# PVかながわ ニュースレター

Report

## 3年ぶりの「さがみはら環境まつり」

### 大盛況のうちに開催されました！

去る6月17日（日）に「さがみはら環境まつり」が開催されました。コロナ禍で一昨年、昨年と中止になりましたが、3年目にして従来の形での環境まつりを実施することができました。 横浜線橋本駅前のミウイ橋本5階インナーガーデン（8階まで吹き抜けの開放的な空間）がメイン会場で、環境まつりめざして来てくださった方、お買い物ついでに立ち寄ってくださった方などで、会場内は大盛況でした。

多くの環境団体が出展する中、太陽光発電所ネットワークPVさがみはらもブース出展とステージ協力をして、久しぶりの対面でのイベントを満喫しました。

PVさがみはらのブースでは、再生可能エネルギーをくらしに取り入れる手軽な方法を伝える展示をしました。

1.電気の契約を再エネプランに変える
　例：パワーシフトキャンペーン
2.ゼロ円で太陽光発電設備を設置する
　例：神奈川県の0円ソーラー
3.分散型電源で災害に強いまちにする
　例：地域の拠点の自治会館に太陽光発電・蓄電池を！

また、ベランダ発電用の50Wソーラーパネルとミニ蓄電池でイルミネーションを光らせたり、太陽熱利用のソーラークッカーを展示して、屋根にソーラーパネルを乗せる工事をしなくてもベランダなどで太陽エネルギーの活用ができることを市民のみなさんに伝えました。

地球温暖化対策やSDGsにも力を入れている本村賢太郎相模原市長もPVさがみはらのブースに立ち寄られ、会員が展示の説明をしました。

インナーガーデンのステージではさがみはら地球温暖化対策協議会の小学生向け〇×クイズ「さがぼーくんのエコな一日」が実施されました。クイズはPVさがみはら会員が作成しました。子どもたちが楽しみながら地球温暖化や自分たちにできるエコな行動を学ぶことができるクイズになっていて、子どもたちは〇だ×だと歓声をあげながら楽しく参加していました。　(北村記)

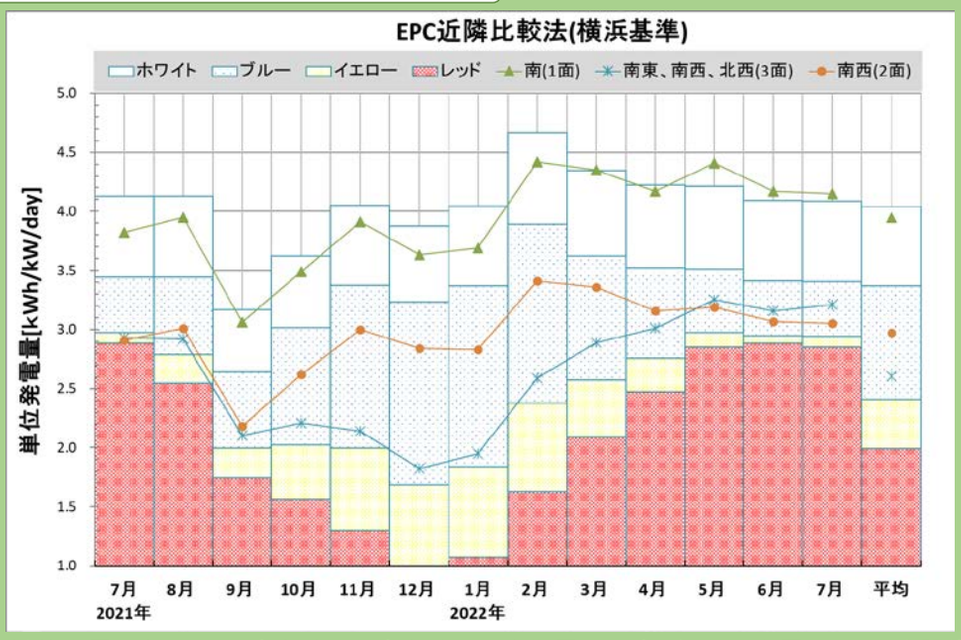
## 世話人から

**今後の予定**

**「出前発電所をつくろう！」ワークショップ第34回**
日時：10月30日（日） 13:20～
会場：かるがも（星川駅）
（計画中！）

**「まなぶんまつり」（保土ヶ谷）**
日時：11月15日（火）、16日（水）
会場：保土ケ谷区役所
地下会議室
（開催企画を検討中！）

## 今月の単位発電量！




気象庁によると7月は「北・東日本日本海側では、中旬から下旬の前半にかけ低気圧や前線の影響で曇りや雨の日があったが、月としては高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、北日本日本海側の月降水量はかなり少なく、北・東日本日本海側の月間日照時間は多かった。一方、北日本太平洋側では、中旬から下旬の前半を中心に低気圧や前線の影響を受け、大雨となった所もあり、月降水量は多かった。東日本太平洋側と西日本では、上旬のはじめと下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、上旬の中頃から中旬にかけ台風第4号や低気圧、前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、西日本では線状降水帯が発生日があり、大雨となった所もあったため、東・西日本太平洋側の月降水量は多かった。月平均気温は全国的に高かった。」

単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。
平均は直近12か月の単位発電量です。一般的に単位発電量は、ブルーの範囲になることが期待されます。北西など、やや北向きがある発電所はイエローになることもありますが、レッドが続く場合は、メーカなどに相談することをお勧めします。
※近年の太陽光システムは均質化や効率改善が進み、2000年初頭の物に比べ、実発電量が10%以上多くなることもあるので、補足としてホワイトを設けました。